

おいしさと健康

Glico

# 第102期 中間報告書

平成 18年4月1日 ▶ 平成 18年9月30日



江崎グリコ株式会社

# おいしさと健康

おいしさの感動を

健康の喜びを

生命の輝きを

Glicoは、

ハート・ヘルス・ライフの

フィールドで

いきいきとした

生活づくりに貢献します。



## もくじ

株主の皆様へ……………	3	新製品のご紹介……………	12
部門別の状況(連結)……………	4	グリコニュース……………	16
業績の推移(連結)……………	6	会社の概要……………	17
主な関係会社……………	6	主な事業所……………	17
株式の状況……………	7	役員……………	18
連結決算の状況……………	8	株主メモ……………	19
単独決算の状況……………	10		

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

当社の第102期中間報告書をお届けするにあたり、ひとことごあいさつ申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業業績の回復による設備投資の増加や雇用情勢の改善が進み、回復基調を辿りました。しかし、一方では、原油価格高騰の長期化や金利上昇懸念等、先行きに不透明感も漂う状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは「グリコグループ行動規範」に基づき、信頼される企業であり続けることを事業展開の基本としながら、主力品の強化、新製品・系列品の発売、自動販売機や職場専用ボックスでの販売等による販売拠点の拡大や各々の流通形態に適合した販売対策を積極的に展開いたしました。

その結果、売上面では、乳製品部門と畜産加工品部門は前中間連結会計期間を下回りましたが、菓子・冷菓・食品部門が前中間連結会計期間を上回ったため、当中間連結会計期間の売上高は1,437億900万円となり、前中間連結会計期間(1,408億4,500万円)に比べ2.0%の増収となりました。

利益面につきましては、原材料価格の上昇の影響により原価率はアップしましたが、売上高の増加が貢献し、売上総利益は増加いたしました。また、販売費及び一般管理費については節減に努め、営業外費用も減少しました。その結果、経常利益は72億800万円と前中間連

結会計期間(61億9,100万円)に比べ10億1,600万円の増益となりました。

また、当中間連結会計期間は投資有価証券評価損等を特別損失として計上しました。その結果、中間純利益は41億5,900万円となり、前中間連結会計期間(36億3,500万円)に比べ5億2,400万円の増益となりました。

なお、中間配当金は、当初予定通り1株当たり5円といたしました。

下半期につきましても、国内景気の先行きは不透明であり、当社を取り巻く販売競争はますます激しくなるものと予想されますが、全社を挙げて業績向上をはかり、株主の皆様のご期待にこたえる所存でございます。

今後とも、株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月



取締役社長

二嶋勝久

## 部門別の状況（連結）

### 菓子部門

**380億2,700万円**

(前年同期比10.7%の増収)



国内では、メンタルバランスチョコレート“GABA”や口中ケアタブレット“BREO”が好調に推移し、その他の製品も概ね前中間連結会計期間を上回りました。さらに海外では、タイ、中国が当中間連結会計期間も順調に売上を伸ばしました。その結果、当中間連結会計期間の売上高は380億2,700万円となり、前中間連結会計期間(343億6,200万円)に比べ10.7%の増収となりました。

### 冷菓部門

**350億4,100万円**

(前年同期比5.2%の増収)



“アイスの実”や“パピコ”は苦戦し、“セブンティーンアイス”“ミニセレ”“和ごころ”等が増販となり、卸売販売子会社が取引先を拡大したことにより増収となりました。その結果、当中間連結会計期間の売上高は350億4,100万円となり、前中間連結会計期間(332億9,600万円)に比べ5.2%の増収となりました。

### 牛乳・乳製品部門

**438億6,900万円**

(前年同期比6.1%の減収)



ヨーグルト製品は順調でしたが、他社との競争激化に加えて、春から初夏にかけての天候不順の影響もあり飲料製品が減収となりました。その結果、当中間連結会計期間の売上高は438億6,900万円となり、前中間連結会計期間(467億2,100万円)に比べ6.1%の減収となりました。

## 食品部門

107億4,000万円

(前年同期比4.8%の増収)



主力製品である“2段熟カレー”が好調で、発売2年目の“HOT 菜中華”も貢献しました。一方、“ZEPPINカレー”や“DONBURI亭”はやや苦戦となりました。その結果、当中間連結会計期間の売上高は107億4,000万円となり、前中間連結会計期間(102億5,100万円)に比べ4.8%の増収となりました。

## 畜産加工品等部門

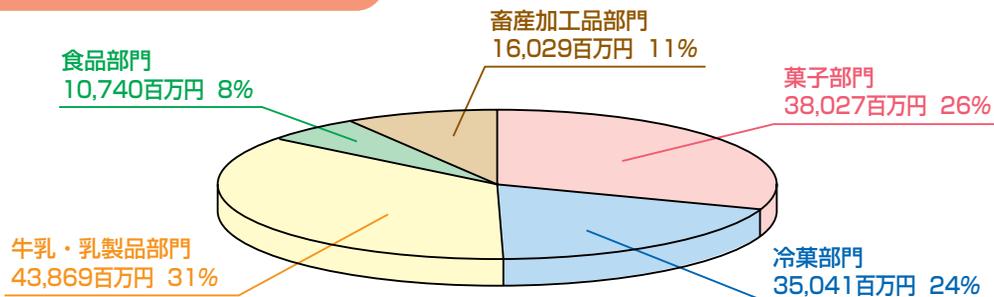
160億2,900万円

(前年同期比1.1%の減収)

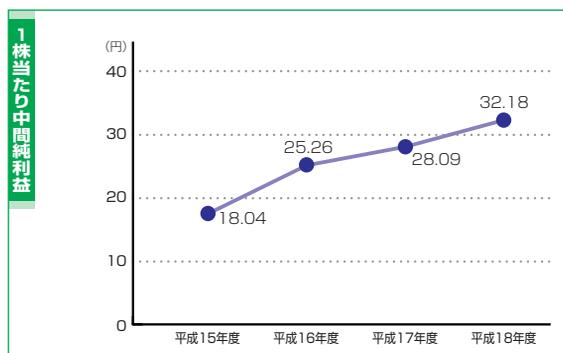
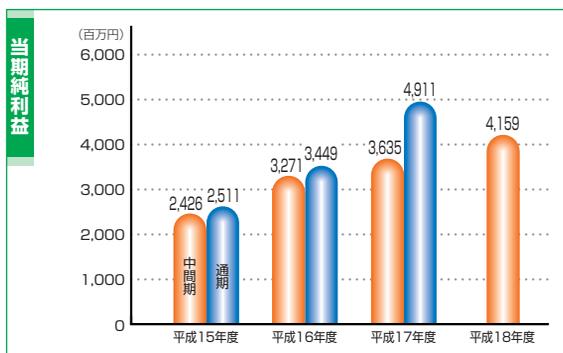


ハム・ソーセージ等が順調で前中間連結会計期間に比べ増収となりましたが、食品原料が苦戦しました。また、前連結会計年度まで畜産加工品部門に含めておりましたグリコ那須高原牧場株式会社の株式を当中間連結会計期間において売却したため、連結の範囲から除外しております。その結果、当中間連結会計期間の売上高は160億2,900万円となり、前中間連結会計期間(162億1,300万円)に比べ1.1%の減収となりました。

## 部門別売上高とその割合



## 業績の推移（連結）



## 主な関係会社

北海道グリコ株式会社  
 仙台グリコ株式会社  
 茨城グリコ株式会社  
 グリコ千葉アイスクリーム株式会社  
 東京グリコ株式会社  
 武生グリコ株式会社  
 三重グリコ株式会社  
 関西グリコ株式会社  
 神戸グリコ株式会社

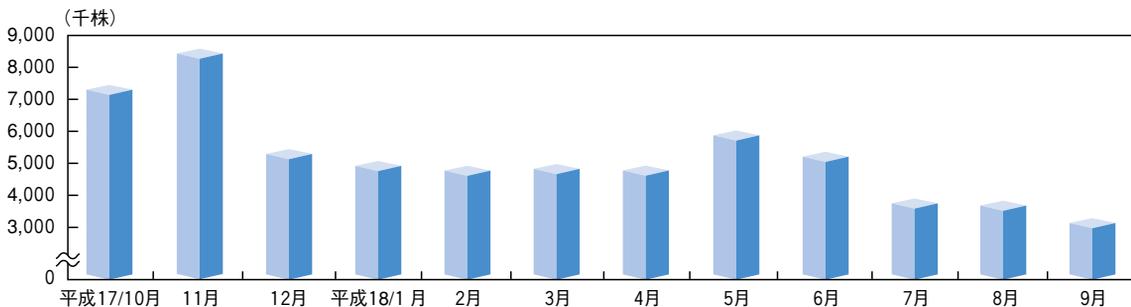
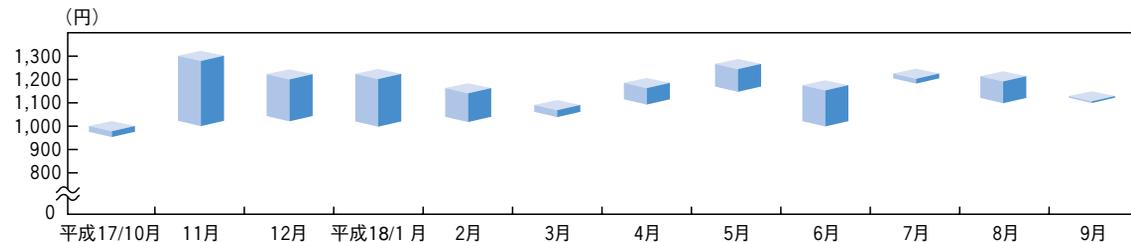
グリコ兵庫アイスクリーム株式会社  
 鳥取グリコ株式会社  
 九州グリコ株式会社  
 江栄情報システム株式会社  
 株式会社グリコ物流サービス  
 東北フローズン株式会社  
 関西フローズン株式会社  
 THAI GLICO CO., LTD.  
 GENERALE BISCUIT GLICO FRANCE S.A.

上海江崎格力高食品有限公司  
 グリコ乳業株式会社  
 グリコ栄養食品株式会社  
 アイクレオ株式会社

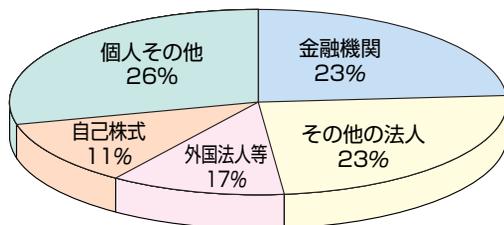
# 株式の状況

会社が発行する株式の総数 470,000,000株  
 発行済株式総数 144,860,138株  
 株主数 17,002名

## 株価および株式売買高の推移



## 所有者別株式数比率



## 大株主

氏名又は名称	持株数(千株)	議決権比率(%)
スティーロパートナーズジャパンストラテジックファンド(オファショア)エルビー	20,578	16.3
掬泉商事株式会社	8,263	6.5
江崎正道	7,240	5.7
大同生命保険株式会社	7,000	5.5
日清食品株式会社	7,000	5.5
佐賀県経済農業協同組合連合会	5,787	4.6
日本生命保険相互会社	2,342	1.9
大正製薬株式会社	2,020	1.6
三井住友海上火災保険株式会社	2,012	1.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,002	1.6

# 連結決算の状況

## 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

期別 科目	前中間連結会計期間末 (平成17年9月30日)	当中間連結会計期間末 (平成18年9月30日)	期別 科目	前中間連結会計期間末 (平成17年9月30日)	当中間連結会計期間末 (平成18年9月30日)
	金額	金額		金額	金額
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>I 流動資産</b>	87,868	89,701	<b>I 流動負債</b>	66,061	77,132
現金及び預金	16,076	13,998	支払手形及び買掛金	32,788	35,846
受取手形及び売掛金	31,127	35,955	短期借入金	1,604	9,040
有価証券	12,807	10,543	未払費用	24,265	24,643
たな卸資産	16,376	17,031	未払法人税等	2,009	1,773
前渡金	350	198	その他	5,394	5,828
前払費用	131	208	<b>II 固定負債</b>	20,734	19,485
短期貸付金	334	607	長期借入金	59	18
繰延税金資産	3,086	3,236	退職給付引当金	15,617	14,907
その他	7,722	8,184	役員退職慰労引当金	1,016	983
貸倒引当金	△146	△264	連結調整勘定	954	—
			負ののれん	—	477
			その他	3,084	3,098
			<b>負債合計</b>	86,796	96,618
			<b>(少数株主持分)</b>		
			少数株主持分	851	—
<b>II 固定資産</b>	120,834	133,807	<b>(資本の部)</b>		
(有形固定資産)	70,286	68,475	I 資本金	7,773	—
建物及び構築物	24,570	23,404	II 資本剰余金	7,416	—
機械装置及び運搬具	25,626	25,327	III 利益剰余金	113,097	—
工具器具備品	3,812	3,945	IV その他有価証券評価差額金	3,355	—
土地	15,042	15,046	V 為替換算調整勘定	△478	—
建設仮勘定	1,235	752	VI 自己株式	△10,108	—
(無形固定資産)	2,398	1,900	<b>資本合計</b>	121,056	—
(投資その他の資産)	48,149	63,431	<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	208,703	—
投資有価証券	35,191	51,602	<b>(純資産の部)</b>		
長期貸付金	1,234	928	<b>I 株主資本</b>	—	122,072
長期前払費用	266	207	資本金	—	7,773
繰延税金資産	6,492	5,005	資本剰余金	—	7,417
その他	6,218	6,697	利益剰余金	—	117,145
貸倒引当金	△1,255	△1,009	自己株式	—	△10,264
			<b>II 評価・換算差額等</b>	—	3,640
			その他有価証券評価差額金	—	4,937
			繰延ヘッジ損益	—	△972
			為替換算調整勘定	—	△325
			<b>III 少数株主持分</b>	—	1,177
<b>資産合計</b>	208,703	223,508	<b>純資産合計</b>	—	126,890
			<b>負債、純資産合計</b>	—	223,508

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期 別	前中間連結会計期間 (17.4.1～17.9.30)	当中間連結会計期間 (18.4.1～18.9.30)
	金額	金額	金額
<b>I 売上高</b>		140,845	143,709
<b>II 売上原価</b>		80,508	82,663
<b>売上総利益</b>		60,337	61,046
<b>III 販売費及び一般管理費</b>		54,915	54,870
<b>営業利益</b>		5,422	6,175
<b>IV 営業外収益</b>		1,446	1,436
(受取利息及び配当金)	( 566)	( 680)	
(その他)	( 880)	( 756)	
<b>V 営業外費用</b>		677	403
(支払利息)	( 42)	( 59)	
(その他)	( 634)	( 344)	
<b>経常利益</b>		6,191	7,208
<b>VI 特別利益</b>		—	—
<b>VII 特別損失</b>		86	309
(投資有価証券評価損)	—	272	
(減損損失)	39	9	
(その他)	( 46)	( 27)	
<b>税金等調整前中間純利益</b>		(6,105)	(6,898)
法人税、住民税及び事業税	(2,098)	(1,959)	
法人税等調整額	264	630	
少数株主利益	107	149	
<b>中間純利益</b>		3,635	4,159

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期 別	前中間連結会計期間 (17.4.1～17.9.30)	当中間連結会計期間 (18.4.1～18.9.30)
	金額	金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前中間純利益	6,105	6,898	
減価償却費	4,841	4,643	
減損損失	39	9	
連結調整勘定償却額	△259	—	
負ののれん償却額	—	△238	
退職給付引当金の増減額	△282	△395	
役員退職慰労引当金の増減額	25	△70	
貸倒引当金の増減額	△42	△147	
受取利息及び受取配当金	△566	△680	
支払利息	42	59	
為替差損益	△64	△4	
有形固定資産売却損	274	154	
売上債権の増減額	△3,729	△8,369	
たな卸資産の増減額	△1,003	764	
仕入債務の増減額	5,989	7,742	
役員賞与の支払額	△95	△94	
その他	2,712	5,561	
小 計	13,986	15,834	
法人税等の支払額	△1,034	△1,923	
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,951	13,910	
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期預金の預入による支出	△513	△381	
定期預金の払戻による収入	480	481	
有価証券の取得による支出	△200	—	
有価証券の売却等による収入	600	1,208	
投資有価証券の取得による支出	△1,782	△2,428	
投資有価証券の売却等による収入	2,222	189	
有形固定資産の取得による支出	△2,819	△4,373	
有形固定資産の売却による収入	63	8	
貸付けによる支出	△43	△308	
貸付金の回収による収入	173	240	
利息及び配当金の受取額	612	714	
その他	△92	219	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,299	△4,428	
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の増減額	△1,731	△2,507	
長期借入金の返済による支出	△106	△31	
利息及び配当金の支払額	△688	△706	
少数株主への配当金の支払額	△19	△18	
自己株式の取得による支出	△59	△66	
その他	1	2	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,605	△3,328	
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>			
	83	26	
<b>V 現金及び現金同等物の増減額</b>			
	9,129	6,181	
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>			
	19,684	20,786	
<b>VII 現金及び現金同等物の中間期末残高</b>			
	28,813	26,967	

# 単独決算の状況

## 中間貸借対照表

(単位:百万円)

期別 科目	前中間会計期間末 (平成17年9月30日)	当中間会計期間末 (平成18年9月30日)	期別 科目	前中間会計期間末 (平成17年9月30日)	当中間会計期間末 (平成18年9月30日)
	金額	金額		金額	金額
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>I 流動資産</b>	60,179	58,413	<b>I 流動負債</b>	55,210	67,349
現金及び預金	13,187	10,661	支払手形	139	150
受取手形	1,109	1,109	買掛金	17,407	17,533
売掛金	15,643	18,004	短期借入金	—	8,000
有価証券	12,807	10,543	未払費用	15,535	14,777
製品	4,679	4,919	未払法人税等	—	345
原材料	2,649	2,151	預り金	19,423	23,584
その他のたな卸資産	345	392	その他	2,704	2,958
繰延税金資産	2,038	2,334	<b>II 固定負債</b>	10,076	9,401
その他	7,829	8,533	退職給付引当金	8,215	7,596
貸倒引当金	△110	△235	役員退職慰労引当金	545	508
<b>II 固定資産</b>	98,207	113,495	預り保証金	1,316	1,296
(有形固定資産)	32,792	32,109	<b>負債合計</b>	65,286	76,750
建物及び構築物	6,053	5,763	<b>(資本の部)</b>		
機械装置	13,012	12,555	<b>I 資本金</b>	7,773	—
土地	10,348	10,348	<b>II 資本剰余金</b>	7,416	—
建設仮勘定	229	224	資本準備金	7,413	—
その他	3,148	3,217	その他資本剰余金	2	—
(無形固定資産)	1,501	1,173	<b>III 利益剰余金</b>	84,772	—
(投資その他の資産)	63,914	80,212	利益準備金	1,943	—
投資有価証券	46,464	61,806	任意積立金	79,077	—
長期貸付金	9,617	11,228	中間未処分利益	3,751	—
繰延税金資産	3,426	1,968	(うち中間純利益)	( 2,456)	( —)
その他	5,677	6,222	<b>IV その他有価証券評価差額金</b>	3,247	—
貸倒引当金	△1,272	△1,013	<b>V 自己株式</b>	△10,108	—
<b>資産合計</b>	158,387	171,909	<b>資本合計</b>	93,101	—
			<b>負債及び資本合計</b>	158,387	—
			<b>(純資産の部)</b>		
			<b>I 株主資本</b>	—	91,323
			資本金	—	7,773
			資本剰余金	—	7,417
			資本準備金	—	7,413
			その他資本剰余金	—	3
			利益剰余金	—	86,396
			利益準備金	—	1,943
			その他利益剰余金	—	84,452
			任意積立金	—	80,045
			繰越利益剰余金	—	4,407
			自己株式	—	△10,264
			<b>II 評価・換算差額等</b>	—	3,834
			その他有価証券評価差額金	—	4,807
			繰延ヘッジ損益	—	△972
			<b>純資産合計</b>	—	95,158
			<b>負債、純資産合計</b>	—	171,909

## 中間損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前 中 間 会 計 期 間 (17.4.1~17.9.30)	当 中 間 会 計 期 間 (18.4.1~18.9.30)
		金 額	金 額
I 売上高		69,878	72,971
II 売上原価		36,002	37,496
<b>売上総利益</b>		<b>33,875</b>	<b>35,475</b>
III 販売費及び一般管理費		32,668	32,868
<b>営業利益</b>		<b>1,207</b>	<b>2,606</b>
IV 営業外収益		2,360	2,417
(受取利息及び配当金)		( 1,835)	( 1,960)
(その他)		( 525)	( 456)
V 営業外費用		381	251
(支払利息)		( 45)	( 81)
(その他)		( 336)	( 170)
<b>経常利益</b>		<b>3,185</b>	<b>4,772</b>
VI 特別利益		—	—
VII 特別損失		68	618
(投資有価証券評価損)		( —)	( 272)
(減損損失)		( 21)	( —)
(その他)		( 46)	( 345)
<b>税引前中間純利益</b>		<b>3,117</b>	<b>4,153</b>
法人税、住民税及び事業税		108	592
法人税等調整額		552	687
<b>中間純利益</b>		<b>2,456</b>	<b>2,872</b>
前期繰越利益		1,294	—
<b>中間未処分利益</b>		<b>3,751</b>	<b>—</b>

菓 子

菓子事業本部

### ポッキー史上最も細い! 「ポッキー<極細>」を新発売。

この秋リニューアルした「ポッキーチョコレート」は新ブレンドのチョコと口どけの良くなったプレツェルのマッチングでさらにあと引くおいしさとなりました。また、「メンズポッキー」はブラックココアパウダーの配合で、キレのあるビターテイストを実現しました。

新発売の「ポッキー<極細>」は、40年前にポッキーが誕生して以来、最も細いポッキーです。断面積が「ポッキーチョコレート」の約1/2ですので、今までにない軽快なおいしさをお楽しみいただけます。



ポッキーチョコレート



メンズポッキー



ポッキー<極細>

### ちょっと贅沢な薄型ナッツチョコレート。

#### 「カレノア」

本格的なチョコレートを楽しみたいという声におこたえたのが「カレノア」です。プラリネのもつ深いコクと香り、スライスアーモンドの香ばしさと繊細な歯ざわりが特長です。くつろぎの時間やおもてなしに、ぜひお試しください。

※プラリネ:砂糖を煮詰めてカラメル状にしたものをアーモンドやヘーゼルナッツと混ぜ合わせ、すりつぶしてペースト状にしたもの。



## 素材本来の風味を活かした、和のプレミアムアイス。 「和ごころ」



「和ごころ」シリーズに新味＜黒みつ珈琲＞を発売しました。また、和素材の食感や風味を感じていただけるよう、素材を増量するなど全品リフレッシュ。新しくなった「和ごころ」で、くつろぎの時間をお楽しみください。

## ミルクの深い味わいとなめらかな舌触り。 「牧場しぼり＜濃厚ミルク＞＜珈琲仕立て＞」

「牧場しぼり」は牛乳の産地にこだわり、風味豊かで濃厚なおいしさを追求したアイスです。深い味わいとなめらかな舌触りの＜濃厚ミルク＞と、香り高いコーヒーをブレンドした＜珈琲仕立て＞をぜひお試しください。



食品

食品事業本部

**トリュフを使って仕上げたちょっと贅沢なシチュー。**  
「ZEPPIN [シチュー絶品]」



こだわりの2層ルウのセンターペーストに「トリュフ」を隠し味に加え、シチューのコクと深みを一層引き立てました。こだわりの味わいをぜひお楽しみください。

牛乳・乳製品

グリコ乳業株式会社

**人気の<とろ〜りクリーム>に  
ゼリー新登場。**

「とろ〜りクリームon  
カフェゼリー」

ご好評いただいている「とろ〜りクリームonプリン」に続いて、コーヒーゼリーが新登場。口溶けの良いゼリーに、とろ〜りとしたクリームをのせました。最後までおいしく食べられるよう、なめらかな口あたりに仕上げています。



## 牛乳・乳製品

グリコ乳業株式会社

### 特大プッチン容器入り。

#### 「Happyプッチンプリン」

おなじみプッチンプリンに超BIGサイズが新登場。プルル〜とした食感とコクのある味わいはそのままに、400gの大容量になりました。ホームパーティーや家族団らんのひとときに、ぜひ皆様でお楽しみください。(一部量販店の催事コーナーで限定販売)



## 畜産加工品等

グリコ栄養食品株式会社

### 用意するのはキャベツだけ! フライパンひとつですぐできる!

#### 「具いり春雨スープめん

##### ごまみそ担々」

つるんとした春雨によく合う、みそとたっぷりのすりごまを使い風味豊かなスープに仕上げました。食感のよい豚ひき肉、もやし、椎茸の3種の具材が入っています。「ごまみそ担々」に加え「鶏がら清湯」「とんこつ白湯」の全3種がありますので、お好みのおいしさからお選びいただけます。



# グリコグループ 食育の取り組みについて

グリコグループは、「おいしさと健康」の企業理念のもと、食育に取り組んでいます。お母さんのおなかの中に生命が芽生えたときから食育は始まります。

その生命の輝きを、食を通じて大切に育むこと。

子供たちが、親子のふれあいを感じながら、わくわくする多くの食体験を重ね、すこやかに成長していくこと。

それが、グリコグループの目指す食育です。

グリコグループでは、これからも、楽しい食環境づくりや食の知識や情報の発信など、食育を応援する活動に取り組んでまいります。

### ～活動のご紹介～

#### ■インターネットを活用した食育活動

できるだけたくさんの方に、食に関する情報をお役立ていただくため、ホームページに食育のコーナーを設け、さまざまな情報を発信しています。



#### ■ダイレクトコミュニケーションを活用した食育活動

工場見学の実施や訪問活動など、ふれあいや体験を通して、直接コミュニケーションを重ねながら食育のご提案をさせていただいております。



食や食文化を楽しく学べる工場見学施設  
「グリコピア神戸」

※江崎グリコのホームページに、食育に関するコンテンツを掲載しております。皆様の生活に役立つ情報もございます。ぜひ、ご参考ください。

- ・「グリコ食育コーナー」お客様にお役立ていただける食育情報  
<http://www.glico.co.jp/shokuiku/index.htm>
- ・「グリコグループの食育の取り組み」グリコグループの食育に関する考え方や活動に関するご紹介  
[http://www.glico.co.jp/group\\_shoku/index.htm](http://www.glico.co.jp/group_shoku/index.htm)

## 会社の概要

平成18年9月30日現在

商号 江崎グリコ株式会社  
創立年月日 大正11年2月11日  
資本金 7,773,681,654円  
営業品目 菓子・食料品の製造および売買。飲食店の経営。  
従業員数 1,183名  
本社所在地 〒555-8502 大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号  
ホームページ <http://www.glico.co.jp>



〈ホームページ〉

## 主な事業所

**本社**  
〒555-8502  
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号  
電話 (06) 6477-8352

**中部統括支店**  
〒461-0025  
名古屋市東区徳川一丁目901番地  
電話 (052) 932-0071

**北海道統括支店**  
〒003-0807  
札幌市白石区菊水7条二丁目7番1号  
電話 (011) 812-6311

**近畿統括支店**  
〒555-8502  
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号  
電話 (06) 6477-8470

**東北統括支店**  
〒981-0912  
仙台市青葉区堤町一丁目1番2号  
電話 (022) 717-2821

**中・四国統括支店**  
〒733-0003  
広島市西区三篠町三丁目6番28号  
電話 (082) 230-4111

**首都圏統括支店**  
〒108-0023  
東京都港区芝浦四丁目16番23号  
電話 (03) 3798-0717

**九州統括支店**  
〒812-0013  
福岡市博多区博多駅東三丁目13番28号  
電話 (092) 474-0331

# 役員

平成18年9月30日現在

代表取締役社長	江崎 勝久	
常務取締役	大川畑 勝也	(品質総括責任者、品質保証部 担当、危機管理委員長、コンプライアンス委員長)
常務取締役	原 光伴	(経理部長 兼 新素材営業グループ長、関連事業 担当)
常務取締役	吉田 安矩	(ロジスティクス部長 兼 情報システム部長、資材部 担当)
常務取締役	深川 修二	(広報部長、IR・オフィスグロコ推進部・お客様相談室・グロコピア神戸 担当)
常務取締役	中川 宗和	(菓子事業本部長 兼 食品事業本部長 兼 健康食品部長、広告部・マーケティング企画室 担当)
取締役	江崎 正道	
取締役	玄 洋二郎	
取締役	門奈 俊夫	(営業統括、広域マーケティング部長、渉外部 担当、東京駐在)
取締役	金子 春義	(環境管理責任者、生産部門統括、製造部長 兼 技術開発部長)
取締役	森井 健一	(冷菓事業本部長)
取締役	芝池 正明	(経営企画室長)
取締役	村上 泰民	(総務人事部長)
取締役	栗木 隆	(研究部門統括、生物化学研究所長、中央研究所 担当)
監査役	山崎 将史	(常勤)
監査役	平野 和男	
監査役	下地 民男	
監査役	玉井 英二	
監査役	太智 幸夫	

- (注) 1. 平成18年6月29日開催の第101回開催の定時株主総会終結の時をもちまして、穴穂忠男、黒野成彦の両氏が任期満了で取締役を退任され、新たに芝池正明、村上泰民、及び栗木隆の3氏が取締役を選任され、それぞれ就任いたしました。
2. 監査役のうち、平野和男、下地民男及び玉井英二の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社証券代行部

## 郵便の場合

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

## 電話照会先

住所変更等用紙のご請求 …………… ☎ 0120-175-417  
買増請求、その他のご照会 …………… ☎ 0120-176-417

## インターネット ホームページURL

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同取次所	住友信託銀行株式会社全国各支店
公告の方法	当社のホームページに掲載する。〈 <a href="http://www.glico.co.jp">http://www.glico.co.jp</a> 〉
上場証券取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所

## 株主様ご優待

1,000株以上ご所有の株主様に、つぎの要領で、  
当社製品の詰め合わせを贈呈させていただいております。

- 贈呈時期 6月末頃と12月中旬頃にお送りいたします。
- 贈呈基準 3月31日現在および9月30日現在の株主様へ  
1,000～1,999株 ……………市価 約 800円相当額製品  
2,000～9,999株 ……………市価 約1,600円相当額製品  
10,000株以上 ……………市価 約3,000円相当額製品



※写真は、詰め合わせ商品例

## 原点はいつも「グリコ」。

1921年、創業者の江崎利一が決して豊かとは言えなかった当時の食料事情において、子供たちの栄養状態の改善の一助になればと、牡蠣の煮汁に含まれているグリコーゲンを活用した初めての栄養菓子「グリコ」を創製いたしました。

この赤い箱の「グリコ」には、新発想のローラーによるハートのカタチ、ゴールインする人の姿をあしらった**独特のデザイン**や“一粒300メートル”の**有名なキャッチフレーズ**、「食べることで遊ぶことは子供の二大天職」という発想から生まれた**豆玩具**など、品質の追求のみに留まらず、メインユーザーである子供たちに最大限楽しんでもらえるように、**独創的なアイデア**をふんだんに盛り込んだ、**創意工夫**に溢れるものでした。

以来、わが社はその製品づくりに対する精神のもと、アーモンドチョコやポッキーチョコなど数々のロングセラー商品を開発してまいりました。

その根底には原点である「グリコ」から変わるこ  
とない一貫した商品づくりに対する思いが受け継が  
れているのです。

